



## 2024年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年9月27日

上場会社名 株式会社キューソー流通システム 上場取引所 東  
コード番号 9369 URL <https://www.krs.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富田 仁一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理担当 (氏名) 伊藤 隆一 TEL 042-441-0711  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年11月期第3四半期の連結業績（2023年12月1日～2024年8月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第3四半期	145,215	5.7	4,930	62.3	4,447	67.7	2,444	111.6
2023年11月期第3四半期	137,361	2.7	3,037	2.0	2,652	△1.0	1,155	△10.3

(注) 包括利益 2024年11月期第3四半期 3,701百万円 (104.5%) 2023年11月期第3四半期 1,810百万円 (△54.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第3四半期	98.34	—
2023年11月期第3四半期	46.48	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第3四半期	128,889	54,527	33.0
2023年11月期	118,874	51,455	33.8

(参考) 自己資本 2024年11月期第3四半期 42,487百万円 2023年11月期 40,192百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	11.50	—	11.50	23.00
2024年11月期	—	11.50	—		
2024年11月期（予想）				11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年11月期の連結業績予想（2023年12月1日～2024年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	192,000	4.0	5,400	34.0	4,500	29.7	2,200	—	88.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料] 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年11月期 3 Q	25,355,800株	2023年11月期	25,355,800株
② 期末自己株式数	2024年11月期 3 Q	499,237株	2023年11月期	499,116株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年11月期 3 Q	24,856,617株	2023年11月期 3 Q	24,856,684株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済におきまして、景気は緩やかに回復し、個人消費などには持ち直しの動きが見られたものの、物価高や為替市場の動向など、先行きは不透明な状況にて推移しました。

食品物流業界におきましては、食品の値上がりにより、消費者の節約志向が続いたものの、コロナ禍からの人流回復やインバウンド増加のなか、荷動きは緩やかに回復しました。当社においては、前年の鳥インフルエンザ感染拡大による、鶏卵供給不足の影響から回復の動きが見られました。一方、人手不足のなか、物流の「2024年問題」を迎えるなど、事業環境は厳しい状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、「徹底力で体質強化」をテーマに掲げ、「機能の強化」「環境変化への対応」「海外展開の基盤拡充」「新領域への参入」の4つを基本方針とした第7次中期経営計画（2022年11月から2024年11月期）を推進しております。既存資源の最大活用による利益率の向上、事業環境の変化に対応した社会的価値の創出、海外における事業の安定化と、更なる展開に向けた基盤強化を進めております。また、食品の温度管理技術を活かした高付加価値物流を提供できる体制構築に取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきまして、営業収益は1,452億15百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は49億30百万円（同62.3%増）、経常利益は44億47百万円（同67.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億44百万円（同111.6%増）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

#### (共同物流事業)

共同物流事業の営業収益は、前年の鶏卵供給不足に対する回復の動きや、適正料金施策などにより、前年を上回りました。利益面は、運送・倉庫のコストアップなどがあったものの、増収による利益増加に加え、前年上期の電気代高騰に対する政府の緩和措置や、前期の減損損失計上にとまなう減価償却費の減少などにより、前年を上回りました。

この結果、営業収益は985億3百万円（前年同期比4.6%増）となり、営業利益は23億29百万円（同136.7%増）となりました。

#### (専用物流事業)

専用物流事業の営業収益は、コンビニエンスストアに関する新規・既存取引の拡大や、適正料金施策などにより、前年を上回りました。利益面は、増収による利益増加などがあったものの、労務費などの費用増加により、前年を下回りました。

この結果、営業収益は301億4百万円（前年同期比3.0%増）となり、営業利益は11億3百万円（同3.4%減）となりました。

#### (関連事業)

関連事業の営業収益は、インドネシアにおける新規・既存取引の拡大などにより、前年を上回りました。利益面は、増収による利益増加などにより、前年を上回りました。

この結果、営業収益は166億7百万円（前年同期比19.1%増）となり、営業利益は14億70百万円（同64.0%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ100億14百万円増加し、1,288億89百万円となりました。資産の増加の主な要因は、無形固定資産の減少3億44百万円はありましたが、現金及び預金の増加17億47百万円、受取手形及び営業未収入金の増加30億42百万円および有形固定資産の増加39億43百万円ならびに投資有価証券の増加12億87百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ69億42百万円増加し、743億61百万円となりました。負債の増加の主な要因は、未払金等の増加によるその他の流動負債の増加17億45百万円、短期借入金の増加34億63百万円および長期借入金の増加3億20百万円などによるものであります。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べ30億72百万円増加し、545億27百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加18億72百万円、非支配株主持分の増加7億76百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年7月4日の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,857	5,604
受取手形及び営業未収入金	21,643	24,685
商品	63	63
貯蔵品	233	246
その他	2,427	2,506
貸倒引当金	△177	△204
流動資産合計	28,047	32,902
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,696	16,185
機械装置及び運搬具（純額）	16,745	18,284
工具、器具及び備品（純額）	3,070	4,098
土地	30,142	29,958
リース資産（純額）	3,377	3,467
建設仮勘定	4,144	5,124
有形固定資産合計	73,176	77,119
無形固定資産		
のれん	1,853	1,688
顧客関連資産	2,232	2,179
その他	1,666	1,539
無形固定資産合計	5,752	5,407
投資その他の資産		
投資有価証券	2,710	3,997
敷金及び保証金	4,305	4,298
その他	4,935	5,216
貸倒引当金	△53	△53
投資その他の資産合計	11,898	13,458
固定資産合計	90,827	95,986
資産合計	118,874	128,889

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	14,266	14,919
短期借入金	12,047	15,511
未払法人税等	688	864
賞与引当金	855	1,365
役員賞与引当金	69	60
資産除去債務	—	14
その他	9,662	11,408
流動負債合計	37,589	44,144
固定負債		
長期借入金	24,292	24,612
長期割賦未払金	203	219
退職給付に係る負債	334	344
資産除去債務	696	699
その他	4,302	4,340
固定負債合計	29,829	30,217
負債合計	67,419	74,361
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,063	4,063
資本剰余金	4,198	4,198
利益剰余金	29,362	31,234
自己株式	△361	△361
株主資本合計	37,262	39,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	818	992
為替換算調整勘定	1,915	2,126
退職給付に係る調整累計額	196	233
その他の包括利益累計額合計	2,930	3,352
非支配株主持分	11,262	12,039
純資産合計	51,455	54,527
負債純資産合計	118,874	128,889

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
営業収益	137,361	145,215
営業原価	129,646	135,488
営業総利益	7,715	9,727
販売費及び一般管理費	4,678	4,796
営業利益	3,037	4,930
営業外収益		
受取利息	14	6
受取配当金	23	30
受取賃貸料	47	44
持分法による投資利益	0	—
補助金収入	48	38
養老保険解約差益	26	44
受取補償金	—	123
その他	126	115
営業外収益合計	287	403
営業外費用		
支払利息	593	785
貸与設備諸費用	38	38
持分法による投資損失	—	15
その他	40	45
営業外費用合計	672	886
経常利益	2,652	4,447
特別利益		
固定資産売却益	53	73
投資有価証券売却益	0	—
持分変動利益	—	98
特別利益合計	53	172
特別損失		
固定資産除売却損	97	110
投資有価証券評価損	—	8
リース解約損	1	7
減損損失	—	75
特別損失合計	99	201
税金等調整前四半期純利益	2,606	4,418
法人税、住民税及び事業税	954	1,431
法人税等調整額	108	△143
法人税等合計	1,062	1,287
四半期純利益	1,544	3,130
非支配株主に帰属する四半期純利益	389	686
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,155	2,444



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
四半期純利益	1,544	3,130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	93	177
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	153	355
退職給付に係る調整額	18	37
その他の包括利益合計	265	571
四半期包括利益	1,810	3,701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,333	2,867
非支配株主に係る四半期包括利益	476	834

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年12月1日至2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	94,193	29,222	13,832	137,248	—	137,248
その他の収益(注) 3	—	—	113	113	—	113
外部顧客への営業収益	94,193	29,222	13,945	137,361	—	137,361
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	764	917	3,863	5,545	△5,545	—
計	94,957	30,140	17,809	142,907	△5,545	137,361
セグメント利益	983	1,142	896	3,022	14	3,037

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる取引であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年12月1日 至 2024年8月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	98,503	30,104	16,492	145,100	—	145,100
その他の収益(注) 3	—	—	115	115	—	115
外部顧客への営業収益	98,503	30,104	16,607	145,215	—	145,215
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	672	926	4,019	5,617	△5,617	—
計	99,176	31,031	20,626	150,833	△5,617	145,215
セグメント利益	2,329	1,103	1,470	4,903	27	4,930

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる取引であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「共同物流事業」において、閉鎖の意思決定をした営業所の資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては75百万円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
減価償却費	4,973百万円	5,177百万円
のれんの償却額	186百万円	196百万円